

令和7年度以降使用教科用図書の採択結果について

このことについて、当教育委員会では、下記のように決定しましたので、お知らせします。

記

令和7年度以降使用教科用図書 中学校及び義務教育学校後期課程用

種目	表記	採択理由
国語	光村	「学びのカギ」では単元で身に付ける資質・能力が具体的に示され、学習内容を認知することができる。「学びの扉」では生徒自身がどう学べばよいかが分かりやすく、主体的に取り組むことができる。「思考の地図」「思考のレッスン」では身に付けた言語スキルを教科横断的に活用できるようにされている。
書写	光村	教科書での毛筆の学びと、別冊の「書写ブック」での硬筆の繰り返し練習を連動させることで、基礎的・基本的な書写力が高められるように設定されている。また、「学びのカギ」で身に付けるべき技能のポイントが項目ごとに丁寧にまとめられており、分かりやすい。
社会 (地理的分野)	帝国	1単位時間毎に学習を見通せる「学習課題」が設定され、学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」により基礎的・基本的な知識および技能が確実に理解できるように工夫されている。また、「学習を振り返ろう」では、単元を貫く問い合わせが提示してあり、見通しをもって学習し取り組むことができるよう工夫されている。
社会 (歴史的分野)	帝国	「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」と小単元の展開の流れが統一され、生徒が見通しをもって主体的に学習できるように工夫されている。また、「タイムトラベル」や「世界とのつながりを考えよう」で、地図やイラストを読み取る課題を設定し、生徒の興味・関心を高め、対話的で深い学びができるよう工夫されている。
社会 (公民的分野)	帝国	基礎基本が習得しやすいように、重要語句については太字で表記してあったり、まとめの部分においては重要事項を構造化して確認したりすることができる。また、様々な形での「アクティブ公民」が豊富に掲載されており、現代社会に即したテーマについて、既習知識を活用しての活動が充実している。
地図	帝国	「地図で発見!」の問いは、社会的な見方・考え方方に着目して作成され、「思考力・判断力・表現力」の育成に繋がるように工夫が見られる。また、巻頭では、世界全体の課題となっている環境問題や脱炭素への動き、食料問題や紛争問題に関する特集ページが設けられている。印刷は鮮明で、図・写真とともに細かな文字まで読み取りやすい。
数学	日文	多くの章で「学びに向かう力を育てよう」「学び合おう」が配置されており、主体的に学んだり、活用したりする場面に多く触れることができるような構成になっている。また、QRコンテンツには「見る」「ためす」「身につける」「図形のまとめ」などがあり、問題の場面をイメージできる動画や反復練習のためのドリルがある。
理科	東書	「学びを生かして考えよう」では、習得した知識を実生活に適用して考える場面を設定し、より深い学びにつながるような工夫がある。また、単元末に学習内容の整理として大切な用語がルビ付きで抽出してあり、確認がしやすい。他にも「お仕事図鑑」「まちなか科学」等のコラムが多数掲載されており、学びを実生活や実社会に広げる工夫がある。
音楽 (一般)	教芸	ねらいが明確で学習の目標が音楽の要素を意識した内容で示されており、基礎・基本的な学習内容の定着が図られるように工夫されている。また、「学びのコンパス」が設定されており、手順に沿って自分で考えながら学習を進めることができるように工夫されている。
音楽 (器楽合奏)	教芸	リコーダー教材では掲載されている曲数が多く、教材曲を演奏する前に既習曲を使って段階を追った学習ができ、基本的な奏法を習得できるよう工夫されている。また、生徒の学習状況に応じて二次元コードから学習に応じた動画等の資料を確認することができ、楽器についての知識・技能が習得できるよう工夫されている。
美術	開隆堂	各題材で必要な知識や技能を、写真や図、「美術の用語」、巻末の「学びの資料」と関連して示している。「学びの資料」には二次元コードの動画があり、学習内容を繰り返し確認することができる。また、「知識・技能」の項目では、完成までの手順やポイントを示すことで、制作に見通しをもち、イメージしやすいようになっている。
保健体育	学研	基本的な学習の進め方として「ウォームアップ」→「学習の課題」→「本文と資料」→「エクササイズ」→「学びを生かす」と流れが統一されており、生徒が主体的に学習を進めることができる。各章のまとめでは「この章で学んだキーワード」を提示することで、基礎的・基本的な知識の認識ができ、学習内容を振り返ることができる。
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	題材の初めに学習課題が明記され、基礎的・基本的な内容の確実な習得が図られるように工夫してある。レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文および参考などの資料との区分も明確である。各ページのQRコードにおいて、学習課題と一体化したデジタルコンテンツが表示され、学習サポートの工夫が見られる。
技術・家庭 (家庭分野)	開隆堂	各内容において「身近なことから考える課題」が設定されており、生徒が自分の生活と結び付けながら興味関心をもって学習を取り組めるように工夫されている。また、社会で活躍している方からのメッセージを「先輩からのエール」として取り上げることで、学習内容と生活との関わりについて知り、実践的な態度が身に付くように配慮されている。
英語	開隆堂	場面を表す絵を見ながら、短い対話を聞いたり、話したりすることで新出文法を学び、基礎・基本の定着ができるよう構成されている。学んだことを活用する活動の中で、段階的に言語活動に取り組むことができる。「Review & Retell」では、本文内容を振り返るために、イラストに合う英語を自分の言葉で表現する場面が設定されている。
道徳	東書	読み物、イラスト、漫画、NHK for School等教材が多彩で、生徒の学習意欲を引き出す工夫がある。全ての教材にQRコンテンツがあり、朗読音声とワークシートが利用できる。また、コラム教材「Plus」が多数掲載されており、教材と関連したテーマの理解をさらに深めたり、広げたりすることができる。